

授業科目名 <英訳>		基礎人類遺伝学演習 Fundamental Human Genetics, exercise			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 小杉 眞司				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 後期不定	曜時限	木 6	授業 形態	演習	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

【基本情報】

授業日時：後期木曜6限（例外予定にご注意ください）

教室：G棟3階演習室

レベル：応用

担当者：小杉眞司・和田敬仁・三宅秀彦・澤井英明（兵庫医科大学）

【コースの概要】

遺伝カウンセラーとしての基礎知識となる遺伝子・染色体の分析について、演習を通じて体験することにより、具体的に理解することを目的とする。家系図作成、遺伝形式の推定、遺伝的リスクの推定などについて、演習を行うほか、臨床の現場で行われる画像診断、医学的フォローの実践についても学ぶ。

[到達目標]

- ・家系図作成、遺伝形式推定、再発確率計算を正確に行うことができる
- ・遺伝学的検査の方法について具体的に理解し、正確に説明することができる

[授業計画と内容]

【第1/2回】7/17金5/6限<澤井>「骨系統疾患とレントゲン・エコー検査」胎児の先天異常で頻度の高い骨系統疾患について概説し、その診断のために必要なレントゲン読影の知識を習得する

【第3回】10/1* <小杉1>「遺伝学的検査演習(1)」遺伝子変異の記載方法、DBのサーチについて演習する

【第4回】10/22<和田1>「家系図作成演習」標準的家系図記載法を学び、クライアントから情報を聴取し、家系図作成を演習する

【第5回】10/29<小杉2>「遺伝医学研究(1)」

【第6回】11/5<三宅1>「胎児超音波検査」妊娠初期～中期にかけての超音波検査、特に染色体異常と関係するソフトマーカーについて理解する。妊娠後期に施行される超音波検査とその意義について理解する

【第7回】11/12<和田2>「遺伝形式の推定・遺伝的リスクの推定」さまざまな家系図を用いた遺伝形式の推定法を演習する。文章から家系図を作成し遺伝型式の推定にいたる実習も含む。近親婚を含む、さまざまな家系における遺伝リスクの推定法を知る。ベイズの定理の応用を必要とする、さまざまな家系における遺伝リスクの推定法を演習する

【第8回】11/19<小杉3>「遺伝学的検査演習(2)」遺伝学的検査結果報告書の解釈等を実践する

【第9回】11/26<三宅2>「放射線・環境因子・感染症の胎児への影響」先天異常の原因において5%程度を占める環境因子について理解する

【第10回】12/3* <小杉4>「遺伝医学研究(2)」

【第11回】12/10<和田3>「染色体検査結果の解釈(1)」染色体検査の適応、検査法ならびに核型解析、染色体検査結果の解釈を学ぶ。

【第12回】12/17<三宅3>「流産絨毛検査」妊娠初期の流産では半数以上で染色体異常が生じている。流産患者における検査の意義について理解する

【第13回】12/24<小杉5>「遺伝学的検査演習(3)」

【第14回】1/14<和田4>「染色体検査結果の解釈(2)」染色体検査以外の細胞遺伝学的検査法（特にCGHアレイ）を学ぶ

基礎人類遺伝学演習(2)へ続く ↓ ↓ ↓

基礎人類遺伝学演習(2)

【第15回】 1/21<小杉 6 > 「遺伝学的検査演習(4)」 遺伝カウンセラーとしての遺伝学的検査への関わりなどを学ぶ

【第16回】 1/28<三宅 4 > 「羊水染色体検査」 羊水染色体検査の実施方法を理解し、その検査に当たっての適切な説明について検討する

【第17回】 2/4 (予備日)

※開始時間遅延の可能性あり

[履修要件]

遺伝カウンセラーコース1回生限定必修科目 (事前確定科目)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

積極的な演習への参加, レポート, 発表, 出席等を総合的に評価する

[教科書]

ハンドアウトを配布

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

(その他 (オフィスアワー等))

講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。